



JR東労組 八王子地本

FAX HACHIOJI



ホームページ

発行責任者

本部派遣代表 佐藤英樹

2020/11/12No.64



「2020年度営業施策（その2）」に関する申し入れ」を提出！！

八王子支社より「2020年度営業関係施策（その2）について」の10月2日に提案を受けて以降、職場から議論を積み重ねてきました。施策実施にあたっては安全とサービスレベルを低下させることは絶対に避けなければなりません。

私達は、コロナ禍における社会の変化と決算の現実を認識し、組合員と危機感を共有し、安全を最大の価値基軸に据え、健全な経営基盤の構築を目指そうとする諸施策に対し、理解する努力を惜しまず向き合っています。あらゆる感染防止対策を講じながら安全性を訴え、黒字経営に向けた議論をつくり出し、この赤字・コロナ禍を乗り越えるべく真剣に議論し取り組んでいます。

私たちは鉄道事業者として駅を利用されるお客さまが施策実施でご不便を感じないよう、鉄道安全・労働安全を第一としたサービスの提供が出来るようにしなければなりません。駅で働く社員が安全で安心して働き、技術継承・技能伝承できる駅業務体制を創り上げなければ鉄道の根本が揺らぎかねません。私たちは安全レベルの向上のため現場第一線で鉄道輸送を創り出してきています。安全・健康・ゆとり・働きがいの持てる職場を構築していくために、下記の通り11月12日に申し入れました。

1. 今施策を実施するに至った経緯と根拠を明らかにすること。
2. 竜王駅のみどりの窓口閉鎖から「話せる指定席券売機」設置までの間はお客さまへのご案内を丁寧に行い、「話せる指定席券売機」の社員に対する教育と機能の説明を行い、お客さまが安心してご利用いただける案内体制の充実を図ること。
3. 八王子駅輸送業務の見直しについて、今後の業務内容を明らかにすること。
4. 八王子駅はお客さまの流動を勘案し、立ち番を配置してホーム上の安全を確保すること。ホーム上の安全確保とご案内を両立させるために、輸送Cの作業は当面確保すること。
5. 拝島駅の営業（乗客）見直しについて、今後の業務内容を明らかにすること。
6. 拝島駅の営業（乗客）が行っている遺失物取扱いは、技術・技能継承の期間を設け、スケジュール感を持って取扱誤りの無いよう教育をおこなうこと。
7. 今施策を実行するにあたって「異動」が発生するのか明らかにすること。また、本人が描くキャリアプランを遵守したうえで、今施策を実施すること。

安全で安心して働け、笑顔あふれる営業職場をつくるために、現場の声から
JR東労組八王子地本は団体交渉を行います！！

